

『冥途』の周辺

平山三郎

内田百閒のはじめの創作集『冥途』は、大正十一

年二月、早稲田大嶽ま前・稲門堂土書局から刊行され

た。^{りま}牛込區鶴巻町 ところが、^{りま}牛込區鶴巻町 ところが、^{りま}牛込區鶴巻町

派手なもので、第一面に五段抜きで出た。「大正」といふ

佳き時代が、^{いんかん}うかがふことが出来る。

小説『冥途』に展^{さら}かれたる世田^せの^りを見よ。『冥

途』は各人の今日と明はとの間に潜める恐ろしき神

秘なり、(略) 人人日常の住居にひそめるこの神

「冥途」と大きく木版刷りの
書名をかかけて